



平成30年2月16日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
広報・渉外課

平成29年度「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」成果発表会の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、キャリア教育の一環として平成17年度より「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」を実施しています。本プログラムは、将来、社会でリーダーとしての活躍を期待される宮大生の企画する力、実施する力を高めるとともに、学生ならではの自発的かつ積極的な活動を通して、本学から発信した活性化の波を広く地域につなげていくことを目的とした、宮崎大学独自の学生支援事業（予算総額：500万円）です。平成29年度に実施された12のプログラムについて、ポスターセッション形式により学生が活動成果を発表します。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載して頂くとともに、取材していただきますようお願いいたします。

敬具

記

開催日時 2月20日（火）10：00 ～ 12：00

場 所 宮崎大学木花キャンパス 地域デザイン棟

対 象 ご興味のあるすべての皆様

参加費 不要

※詳細は別紙をご覧ください

「宮大チャレンジ・プログラム」とは、宮大生の企画・運営・実施能力を高めるためのプログラムで、「とっても元気！」な企画を募集し、その活動をバックアップするものです。

平成29年度

「とっても元気！」



宮大チャレンジ・プログラム」

成果発表会

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. うめもんでつくる 日之影町の元気！！ | 7. 省力でコンパクトな根菜収穫ロボット。
～大根収穫の全国1位を目指せ！～ |
| 2. PSU受け入れプログラム | 8. もっと知ろう！観光地「都井岬」の野生生物調査プロジェクト |
| 3. NEOモグラロボット～実用化に向けて始動～ | 9. みやたまラボ～宮大おみやげプロジェクト～ |
| 4. IoE in フェニックス動物園 | 10. もっと！宮崎カンキツひろめ隊 |
| 5. ヴァーチャルプロジェクト VRで見る宮大オープンキャンパス | 11. 第4回宮崎ひまわりキャンプ |
| 6. はばたけ！宮崎の「ホンダストーリー」 | 12. カラフルマジック！～色の化学広め隊～ |

2018. 2.20 (火) 10:00～12:00

地域デザイン棟 Main Studio

* ポスターセッション形式で行います。

(12:00～15:00はポスター掲示のみ)

どなたでもご覧いただけますので、是非お越しください。

平成29年度「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」採択12企画の概要

No.	企 画 名	代表学生所属	概 要(各企画の企画書より)
1	うめもんでつくる 日之影町の元気！！	教育文化学部	本企画では、宮崎県日之影町における地域資源の発見を町役場、学生、町民で三位一体となって模索し、それらを有効活用することで日之影町をより多くの人々に知ってもらい、より活力のある町にしたいというものである。
2	PSU受け入れプログラム	医学部	毎年、医学部看護学科ではタイ国のプリンスオブソンクラ大学(PSU)との3週間の交換研修を実施している。その3週間の交換研修受け入れ期間に学生間での文化交流や地域医療に関連した学習プログラムを企画する。
3	NEOモグラロボット～実用化に向けて始動～	工学研究科	この企画では草刈りと耕耘を一台で同時に行う新型モグラロボットの開発を行う。昨年度企画したモグラロボットでも機能の拡大を行ったが、発表時における意見や質問による課題点が見つかった。今回はその課題に取り組み、IoT技術による遠隔操作の実用性を高めることを目標とする。これにより宮崎発の新たにIoT農業機械を発信できることを期待する。
4	IoE in フェニックス動物園	工学部	本企画では、カメラから取得した映像を基に動物園で飼育されている動物の目線をスクリーンやタブレット画面上、VRに再現することで来園者に動物園の新しい楽しみ方を提供できるシステムを構築する。また、動物園に設置してある説明プレートにQRコードを記載するなどして、説明プレートのIT化を目指す。
5	ヴァーチャルプロジェクト VRで見る宮大オープンキャンパス	工学研究科	本企画では、最近話題となっているVRを用いて、宮崎大学をアピールしていく。3Dモデルや2D画像を組み合わせていくことで、リアルな宮崎大学を構築し、VRを用いて学内の散策を行うことができる。実際に学生と同じ目線で学内を散策できるため、オープンキャンパスや学祭などで展示することで、新たに本学へ興味を持つきっかけとなる。
6	はばたけ！宮崎の「木ンダストリー」	教育文化学部	宮崎において「木」にかかわる産業である、林業や木材産業、建築業はなくてはならない存在である。我々は今回それら「木」に関わる経済活動を「木ンダストリー」と称し、日本全国に宮崎の駄肥スギ、木材を広める。
7	省力でコンパクトな根菜収穫ロボット。～大根収穫の全国1位を目指せ！～	工学部	本企画は、小型かつ低コストで誰にでも扱いやすく、使用者の負担の軽減をしてくれる機器の開発を行う。目標とする作物を、多くの農家で栽培され、収穫作業で大きな負担を伴う大根に設定する。また、一種類の作物に限定するのではなく様々な根菜系の作物に対応できるものを開発し農作業を安全かつ楽に行えるよう宮崎の農業に貢献したいと考える。
8	もっと知ろう！観光地”都井岬”の野生生物調査プロジェクト	農学部	宮崎県串間市の都井岬は半野生馬によって草原生態系が維持されている。馬を頂点とする生態系は世界にも数箇所しか存在せず、貴重だが、これを支える動物相は良くわかっていない。本企画では、都井岬で野生動物全般を対象に生息調査を行い、その生態的価値を見出すことで、観光資源としての価値を高めることを目的とする。
9	みやたまラボ～宮大おみやげプロジェクト～	地域資源創成学部	本プログラムでは、宮崎県の豊富な食資源と宮崎大学には職に関連したおみやげが少ないという2つの点に着目して、企業と連携して宮崎大学の新たなおみやげを開発することを目的とする。宮崎大学ブランドとしておみやげを作ることで、大学生の宮崎に対する意識の向上、大学や地域の活性化のきっかけとなることが考えられる。
10	もっと！宮崎カンキツひろめ隊	地域資源創成学部	宮崎県は質のよい柑橘系の果実が種類、量のどちらも豊富かつ多く生産できる。実際に昨年度も私たちの団体は活動させていただき、農家訪問や試食会を通し、宮崎の柑橘の良さを改めて知ることができた。そこから生まれた、反省点や改善策を活かし、更なる柑橘の広報を行うため、去年の反省を踏まえ、引き続き立ち上げた。
11	第4回宮崎ひまわりキャンプ	医学部	宮崎ひまわりキャンプでは小児がん経験者とその家族を支援することを目的とし、小児がんの経験者が一同に会するイベントを企画しており、そこで経験者同士の繋がりを深めていただくことが目的です。また、小児科の医師に同行していただき安全な活動を心がけることで、なかなか外で遊ぶことのできない病棟の子どもたちへの希望になればと考えております。本企画は前年度第3回宮崎ひまわりキャンプでの成功を受けて、10月のキャンプと12月の冬のひまわり会(冬の病院内でのイベント)を主なイベントとして活動していきます。
12	カラフルマジック！～色の化学広め隊～	農学部	本企画は、日常の基盤にある「化学」を利用した、より良い宮崎を創造する人材育成のきっかけ作りを目的としています。高校生を対象に、身近な化学である「色素」に関する実験講座を行い、好奇心を掻き立て、高校生が当事者意識を持って化学を学ぶきっかけを作ります。これにより将来を見据えた宮崎の活性化と本学の活性化を図ります。私たち学生も将来、化学を用いて社会を牽引するという自覚を持ち、そのために必要な能力を涵養します。